

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

M A H L E R 9

永遠なんてないことは分かってる。
だから、今だけそっと胸に抱いていたいんだ。

**シルヴァン・
カンブルラン** (読響常任指揮者)
SYLVAIN CAMBRELING, Conductor

**アイヴズ
ニューイングランドの3つの場所**
IVES: Three Places in New England
**マーラー
交響曲 第9番** 二長調
MAHLER: Symphony No. 9 in D major

読売日本交響楽団 第577回 定期演奏会
2018 **4.20** (金) 19:00
サントリーホール
S ¥7,500 A ¥6,500
B ¥5,500 C ¥4,000
SUBSCRIPTION CONCERT, No. 577
Fri. 20th Apr. 2018 19:00 / Suntory Hall

読響チケットセンター
0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)
<http://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
協力: アフラック

読響常任指揮者

シルヴァン・カンブルラン

SYLVAIN CAMBRELING, Conductor

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導く名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、高い評価を得ている。現在、シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、クラングフォーラム・ウィーン的首席客演指揮者も兼任している。ベルギー王立モネ歌劇場とフランクフルト歌劇場の音楽監督、バーデンバーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者を歴任。世界の一流楽団に客演するほか、ザルツブルク音楽祭などでも活躍している。17年11月には読響とメシアンの大曲「アッシジの聖フランチェスコ」(演奏会形式)を披露し、「音楽の友」誌の「コンサート・ベストテン2017」で第1位に選出されるなど絶賛された。

現代に通じるマーラーの先進性

—カンブルラン&読響の集大成へ—

寺西基之(音楽評論家)

カンブルランが読売日本交響楽団の常任指揮者に就任して8年、この間に読響は、アンサンブルの緻密さや色彩のパレットの広がりなど、めざましいまでに演奏水準を上げてきた。彼のもとで読響が培った表現の多様性と技術の向上が最高の形で結実したのが、昨秋のメシアンの大曲「アッシジの聖フランチェスコ」の日本初演で、精緻にして雄弁、鮮やかな色彩感で会場の聴衆を感動の渦に巻き込んだその圧倒的な名演は、日本のコンサート史上にひとつの輝かしい金字塔を打ち立てるものだった。

そのカンブルランも2018年度をもって常任指揮者の任期を終える。それだけにこれからのカンブルランと読響の演奏会は、一回一回が集大成としての重みを持つものとなるだろう。最終年度の最初の定期演奏会で彼が選んだメイン曲はマーラーの交響曲第9番。彼は読響との共演ですでにマーラーの交響曲をいくつも取り上げてきたが、それらを聴くかぎり、いわゆる後期ロマン派の線上でマーラーを捉えるのではなく、むしろ現代に通じる作曲家としての先進的な側面を浮かび上がらせるような解釈を示して

いた。過剰な感情移入を避け、複雑なスコアを明晰に解きほぐすことで、マーラーの音楽に内在する斬新性に光を当てていくそうしたカンブルランのアプローチは、今回の第9番でとりわけ生かされることになるだろう。というのもこの作品は、ポリフォニックな音の綾が生み出す不協和な響きやコラージュ風の書法など、マーラーの交響曲の中でも特にモダンな面を持ったものだからだ。カンブルランはそうした面を際立たせることで、この作品のテーマとなっているマーラーの死生観を浮き彫りにしてくれるに違いない。

プログラム前半にアイヴズの「ニューイングランドの3つの場所」が置かれている点も注目されよう。カンブルランはアイヴズを“新しい時代を切り拓いた”作曲家として高く評価しており、今回マーラーの第9番と組み合わせたのも、ともに未来を見据えていたふたりの精神性に相通じるものを見出したからと思われる。日本では取り上げられる機会の少ないアイヴズだけに、カンブルランの透徹した指揮によってその真価が明らかにされることをおおいに期待したい。

読売日本交響楽団 第577回 定期演奏会

2018年4月20日(金)19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017